

栄東げんきっ子

《中学生編》

第110号 2018.2.1発行
＜編集発行＞
栄東地区子ども未来会議
＜問合せ先＞
栄東まちづくりセンター
電話 711-2203

さっぽろ雪まつりの歴史

今年の「第69回さっぽろ雪まつり2018」は、つどいむ会場2/1(木)～2/12(月・祝)、大通り・すすきの会場は2/5(月)～2/12(月・祝)の開催となります。

そこで さっぽろ雪まつりの豆知識！

- 1950(昭和25)年 中学生(北辰・向陵)、高校生(札工・北海・西)の生徒達の手によって、大通り西7丁目の雪捨て場の雪を使い6基の像(3～6m)を作ったのが始まりです。それでも来場者は5万人も来たそうです。
《この時は回次呼称はなし》
- 1951(昭和26)年 2日間の開催で札幌市の正式な年間行事となりました。(実は前年の初回の時も2日間の予定2/18・19でしたが、なぜか18日の1日の開催で終わってしまった様です。)
《第2回》
- 1955(昭和30)年 1954年発足された自衛隊(旧:保安隊)参加。この時より大雪像が造られるようになりました。
《第6回》
- 1972(昭和47)年 冬季オリンピック札幌大会により「ようこそ札幌へ」のテーマで世界に知られるようになりました。
《第23回》
- 2009(平成21)年 第2会場を(真駒内→さとらんど)つどいむ会場とし現在に至っています。
《第60回》



【シリーズ 部活紹介】 《栄中学校 ちょボラ隊》

「ちょボラ」とは「ちょこっとボランティア」の略です。

活動は年間5～6回で、地域のお祭りのお手伝い、赤い羽根募金活動、老人ホーム訪問などを行っています。固定された部員もいますが、活動があるたびに参加者を募るので、普段他の部活動を行っている生徒も参加が可能です。これからも地域の発展のためにさまざまな活動を行っていきます。

